

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年9月13日
【四半期会計期間】	第15期第2四半期（自平成23年5月1日至平成23年7月31日）
【会社名】	サイボウズ株式会社
【英訳名】	Cybozu, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 西 端 慶 久
【本店の所在の場所】	東京都文京区後楽一丁目4番14号
【電話番号】	03 - 5805 - 9035
【事務連絡者氏名】	取締役副社長 山 田 理
【最寄りの連絡場所】	東京都文京区後楽一丁目4番14号
【電話番号】	03 - 5805 - 9035
【事務連絡者氏名】	取締役副社長 山 田 理
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

##### 連結経営指標等

回次	第14期 第2四半期連結 累計期間	第15期 第2四半期連結 累計期間	第14期 第2四半期連結 会計期間	第15期 第2四半期連結 会計期間	第14期
会計期間	自 平成22年 2月1日 至 平成22年 7月31日	自 平成23年 2月1日 至 平成23年 7月31日	自 平成22年 5月1日 至 平成22年 7月31日	自 平成23年 5月1日 至 平成23年 7月31日	自 平成22年 2月1日 至 平成23年 1月31日
売上高 (千円)	2,817,296	2,135,461	1,258,072	1,002,066	5,312,075
経常利益 (千円)	725,427	423,008	210,945	127,754	798,708
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失( ) (千円)	284,180	261,624	8,252	37,970	392,548
純資産額 (千円)	-	-	5,055,200	5,057,205	5,055,550
総資産額 (千円)	-	-	6,387,983	6,073,331	6,297,400
1株当たり純資産額 (円)	-	-	9,277.36	9,585.70	9,529.36
1株当たり四半期(当 期)純利益又は1株当 り四半期純損失( ) (円)	538.85	495.90	15.64	71.97	744.19
潜在株式調整後1株当 り四半期(当期)純利益 (円)	538.81	-	-	-	744.19
自己資本比率 (%)	-	-	76.6	83.3	79.8
営業活動によるキャッ シュ・フロー (千円)	1,006,032	551,025	-	-	1,385,492
投資活動によるキャッ シュ・フロー (千円)	94,420	477,253	-	-	2,189,180
財務活動によるキャッ シュ・フロー (千円)	117,273	247,196	-	-	155,750
現金及び現金同等物の四 半期末(期末)残高 (千円)	-	-	3,866,517	2,740,060	1,926,962
従業員数 (名)	-	-	358	358	368

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第15期第2四半期連結累計期間、第14期第2四半期連結会計期間及び第15期第2四半期連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ（当社および当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はございません。

なお、当第2四半期連結会計期間において、営業の拠点として米国法人「Cybozu Corporation」を新たに設立し、連結の範囲に含めております。

### サイボウズグループ

グループウェアの開発とライセンス販売 SaaS型グループウェア・ネットサービスの提供 高付加価値型SIの提供	サイボウズ株式会社 サイボウズ総合研究所株式会社 サイボウズ・ラボ株式会社 サイボウズスタートアップス株式会社 才望子信息技术（上海）有限公司 Cybozu Vietnam Co.,Ltd. Cybozu Corporation *非連結子会社かつ持分法非適用子会社 株式会社ジェイヤド
--	---

## 3【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、次の連結子会社が新たに提出会社の関係会社となりました。

名称	住所	資本金 (千円)	主要な事業の内容	議決権の所有割合 (%)	関係内容
(連結子会社) Cybozu Corporation	アメリカ カリフォルニア	16,118	ソフトウェアの 販売	所有 100.0	役員の兼任

(注) 当第2四半期連結会計期間において新たに設立し、連結の範囲に含めております。

## 4【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成23年7月31日現在

従業員数(名)	358(50)
---------	---------

(注) 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は、当第2四半期連結会計期間の平均人員を( )外書で記載しております。

### (2) 提出会社の状況

平成23年7月31日現在

従業員数(名)	258(38)
---------	---------

(注) 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は、当第2四半期会計期間の平均人員を( )外書で記載しております。

## 第2【事業の状況】

### 1【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 生産実績

当第2四半期連結会計期間における生産実績は、次のとおりであります。なお、当社グループ（当社及び連結子会社）は単一セグメントのため、製品の種類別に記載しております。

事業の種類	生産高（千円）	前年同四半期比（％）
かんたんシリーズ	-	-
ガルーンシリーズ	22,493	-
その他	18,697	-
合計	41,191	-

- （注）1．金額は、製造原価とソフトウェアのうち自社開発分（資産計上分）の合計により算出しております。  
2．金額には、消費税等は含まれておりません。  
3．従来ソフトウェア事業のみの製品別生産高を記載していましたが、第1四半期連結会計期間において単一セグメントに変更したことから、前年同四半期比は記載しておりません。

#### (2) 受注実績

当社グループ（当社及び連結子会社）は受託開発を行っていますが、受注高及び受注残高の金額に重要性はありません。

#### (3) 販売実績

当第2四半期連結会計期間の販売実績は、次のとおりであります。なお、当社グループ（当社及び連結子会社）は単一セグメントのため、製品の種類別に記載しております。

事業の種類	販売高（千円）	前年同四半期比（％）
かんたんシリーズ	536,765	-
ガルーンシリーズ	301,897	-
その他	163,404	-
総合計	1,002,066	-

- （注）1．金額には、消費税等は含まれておりません。  
2．従来ソフトウェア事業のみの製品別販売高を記載していましたが、第1四半期連結会計期間において単一セグメントに変更したことから、前年同四半期比は記載しておりません。  
3．主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第2四半期連結会計期間		当第2四半期連結会計期間	
	販売高（千円）	割合（％）	販売高（千円）	割合（％）
株式会社大塚商会	194,440	15.5	182,674	18.2
ソフトバンクBB株式会社	118,063	9.4	115,535	11.5

## 2【事業等のリスク】

当第2四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

## 3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

## 4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

### (1) 経営成績

当第2四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響によって企業の生産活動や個人消費が低下し、また電力不足の影響や急激な円高進行により、先行きは依然として不透明な状況となっております。

このような状況の中、当社グループは引き続き、クラウド/SaaS型サービスの拡充、海外市場顧客の獲得に注力しております。

クラウド/SaaS型サービスの拡充の一環として、「サイボウズ Office 8」の次期バージョンを2011年秋にクラウドサービスで発売開始することを発表いたしました。仕事の流れや工程などのフローも共有できる機能を強化し、チーム全体での業務効率を向上できるようになります。また、無料で使えるクラウド型コラボレーションツールとして提供を開始していた「サイボウズLive」のiPhoneアプリケーション「サイボウズLive for iPhone」をApp Storeで提供開始いたしました。iPhoneをご利用のお客様はこのアプリケーションをご利用いただくことで、「サイボウズLive」を様々な場所で今まで以上に便利に活用いただくことが可能となります。

海外市場顧客の獲得の一環としては、日本マイクロソフト株式会社の技術支援の下開発を行っていた、Microsoft® SharePoint® Server 2010をベースとした次世代グループウェア「Cybozu SP Apps 2010」シリーズを日本国内と北米で同時に提供開始いたしました。日本マイクロソフト株式会社およびマイクロソフト コーポレーションによる支援の下、北米を皮切りとして海外市場に本格的に参入し、共同で製品プロモーションや販売活動を実施し、2012年1月末までに国内55社、北米40社以上への導入を目指します。

このような状況下において、当第2四半期連結会計期間の連結業績については、連結子会社の減少等により連結売上高は前年同期に比べて減少し1,002百万円（前年同期比 20.3%）となりました。営業利益についても、連結子会社の売却によるのれん償却額の減少があったものの、売上高が前年同期に比べ減少したことから123百万円（前年同期比 41.2%）、経常利益127百万円（前年同期比 39.4%）、四半期純利益は37百万円（前年同期は四半期純損失8百万円）となりました。

### (2) 財政状態

第1四半期連結会計期間において、コムリンク株式会社が連結子会社でなくなったこと等により、資産の部は前連結会計年度末に比べ224百万円減少し、6,073百万円となりました。

負債の部についても、コムリンク株式会社が連結子会社でなくなったことにより借入金や社債が減少したこと等から、前連結会計年度末に比べ225百万円減少し、1,016百万円となりました。

また、当第2四半期連結会計期間末の純資産の部については、5,057百万円となり、自己資本比率は83.3%となりました。

### (3) キャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、第1四半期連結会計期間末より72百万円増加し、2,740百万円となりました。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結会計期間における営業活動による資金収支は、190百万円の収入（前年同期比375百万円の収入減）となりました。これは主に、売上が前年同期に比べて減少したこと、また、広告宣伝等の投資による支出が前年同期に比べて増加したこと等によるものです。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結会計期間における投資活動による資金収支は、61百万円の支出（前年同期比0百万円の収入増）となりました。これは主に、前年同期に比べ、有形固定資産の取得による支出が少なかったこと等によるものです。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結会計期間における財務活動による資金収支は、55百万円の支出（前年同期比24百万円の支出増）となりました。これは主に、配当金の支払額が増加したことなどによるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結会計期間における研究開発費の総額は132百万円です。

なお、当第2四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設及び除却、売却等の計画はありません。

## 第4【提出会社の状況】

### 1【株式等の状況】

#### (1)【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	1,934,280
計	1,934,280

##### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年7月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年9月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	527,578	527,578	東京証券取引所 市場第一部	当社は単元株制度を採用しておりません。
計	527,578	527,578	-	-

#### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

#### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年5月1日～ 平成23年7月31日	-	527,578	-	613,810	-	976,765



(6)【大株主の状況】

平成23年7月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
西 端 慶 久	東京都文京区	86,993	16.49
畑 慎 也	東京都文京区	86,725	16.44
中 野 博 久	京都市左京区	19,000	3.60
山 田 理	東京都文京区	18,401	3.49
サイボウズ従業員持株会	東京都文京区後楽1丁目4番14号	13,842	2.62
田 畑 正 吾	兵庫県芦屋市	8,000	1.52
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	5,261	1.00
日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町1丁目2番10号	4,985	0.94
石 川 靖 明	東京都大田区	3,990	0.76
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	3,552	0.67
計	-	250,749	47.53

(注) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)及び日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)の持株数は、全て信託業務に係る株式であります。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年7月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	-	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 527,578	527,578	-
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	527,578	-	-
総株主の議決権	-	527,578	-

【自己株式等】

平成23年7月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
-	-	-	-	-	-
計	-	-	-	-	-

2【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成23年2月	3月	4月	5月	6月	7月
最高(円)	24,270	24,700	17,790	17,740	23,690	20,840
最低(円)	22,980	14,900	16,000	15,910	15,910	16,910

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

3【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
代表取締役社長 兼 グローバル開発本部長	代表取締役社長	西端 慶久	平成23年8月1日

## 第5【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第2四半期連結会計期間（平成22年5月1日から平成22年7月31日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成22年2月1日から平成22年7月31日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第2四半期連結会計期間（平成23年5月1日から平成23年7月31日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成23年2月1日から平成23年7月31日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間（平成22年5月1日から平成22年7月31日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成22年2月1日から平成22年7月31日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに、当第2四半期連結会計期間（平成23年5月1日から平成23年7月31日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成23年2月1日から平成23年7月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,740,060	2,094,962
受取手形及び売掛金	592,261	696,400
有価証券	1,500,000	2,000,000
たな卸資産	<sup>1</sup> 17,044	<sup>1</sup> 19,810
繰延税金資産	21,136	57,608
その他	79,934	77,789
貸倒引当金	946	1,503
流動資産合計	4,949,490	4,945,068
固定資産		
有形固定資産	<sup>2</sup> 232,668	<sup>2</sup> 222,214
無形固定資産		
のれん	5,672	56,974
ソフトウェア	55,013	79,134
その他	35,601	12,654
無形固定資産合計	96,287	148,763
投資その他の資産		
投資有価証券	486,741	506,968
繰延税金資産	107,947	223,779
その他	203,726	254,297
貸倒引当金	3,530	3,691
投資その他の資産合計	794,884	981,354
固定資産合計	1,123,841	1,352,332
資産合計	6,073,331	6,297,400
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	17,107	29,255
1年内返済予定の長期借入金	-	27,182
1年内償還予定の社債	-	20,000
未払法人税等	103,633	135,815
役員賞与引当金	-	9,000
その他	895,384	947,292
流動負債合計	1,016,125	1,168,545
固定負債		
社債	-	10,000
長期借入金	-	59,130
その他	-	4,174
固定負債合計	-	73,304
負債合計	1,016,125	1,241,849

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年1月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	613,810	613,810
資本剰余金	976,765	976,765
利益剰余金	3,486,048	3,445,777
株主資本合計	5,076,624	5,036,353
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	19,251	8,321
その他有価証券評価差額金	168	552
評価・換算差額等合計	19,419	8,874
少数株主持分	-	28,071
純資産合計	5,057,205	5,055,550
負債純資産合計	6,073,331	6,297,400

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年2月1日 至平成22年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年7月31日)
売上高	2,817,296	2,135,461
売上原価	385,545	185,591
売上総利益	2,431,751	1,949,870
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	591,735	490,520
業務委託費	83,737	81,123
貸倒引当金繰入額	882	69
のれん償却額	91,249	17,919
その他	940,942	945,897
販売費及び一般管理費合計	1,708,547	1,535,530
営業利益	723,203	414,340
営業外収益		
受取利息	1,147	2,328
受取配当金	133	243
持分法による投資利益	1,043	-
受取手数料	1,062	1,186
為替差益	-	2,634
その他	6,025	2,278
営業外収益合計	9,411	8,670
営業外費用		
支払利息	5,471	-
その他	1,716	2
営業外費用合計	7,187	2
経常利益	725,427	423,008
特別利益		
投資有価証券売却益	-	9,466
関係会社株式売却益	-	160,488
貸倒引当金戻入額	166	245
特別利益合計	166	170,201
特別損失		
固定資産除売却損	2,267	2,144
事務所移転費用	138	3,485
事業譲渡損	107,342	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	18,734
寄付金	-	50,000
減損損失	-	10,800
特別損失合計	109,748	85,164
税金等調整前四半期純利益	615,844	508,045
法人税、住民税及び事業税	278,464	96,818
法人税等調整額	53,609	149,602
法人税等合計	332,074	246,421
少数株主損益調整前四半期純利益	-	261,624
少数株主損失( )	409	-
四半期純利益	284,180	261,624

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年7月31日)
売上高	1,258,072	1,002,066
売上原価	170,228	90,435
売上総利益	1,087,843	911,631
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	307,977	248,105
業務委託費	45,868	43,240
貸倒引当金繰入額	508	25
のれん償却額	43,983	7,289
その他	479,131	489,295
販売費及び一般管理費合計	877,469	787,956
営業利益	210,373	123,675
営業外収益		
受取利息	255	62
受取配当金	133	243
持分法による投資利益	879	-
受取手数料	395	279
為替差益	-	2,453
その他	4,442	1,042
営業外収益合計	4,347	4,080
営業外費用		
支払利息	2,653	-
その他	1,122	1
営業外費用合計	3,775	1
経常利益	210,945	127,754
特別利益		
投資有価証券売却益	-	9,466
貸倒引当金戻入額	116	245
特別利益合計	116	9,712
特別損失		
固定資産除売却損	1,490	1,918
事務所移転費用	-	362
事業譲渡損	107,342	-
寄付金	-	50,000
特別損失合計	108,832	52,280
税金等調整前四半期純利益	102,228	85,186
法人税、住民税及び事業税	79,160	57,809
法人税等調整額	32,234	10,594
法人税等合計	111,394	47,215
少数株主損益調整前四半期純利益	-	37,970
少数株主損失( )	913	-
四半期純利益又は四半期純損失( )	8,252	37,970

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年2月1日 至平成22年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	615,844	508,045
減価償却費	79,787	120,051
減損損失	-	10,800
のれん償却額	91,249	17,919
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	18,734
持分法による投資損益(は益)	1,043	-
事業譲渡損益(は益)	107,342	-
関係会社株式売却損益(は益)	-	160,488
貸倒引当金の増減額(は減少)	333	401
受取利息及び受取配当金	1,280	2,571
支払利息及び社債利息	5,471	-
賞与引当金の増減額(は減少)	5,353	-
投資損失引当金の増減額(は減少)	41,461	-
売上債権の増減額(は増加)	35,549	25,222
たな卸資産の増減額(は増加)	107	5,890
仕入債務の増減額(は減少)	9,617	7,998
未払金の増減額(は減少)	2,481	50,367
前受金の増減額(は減少)	98,440	50,256
その他	5,517	117,860
小計	1,012,645	657,169
利息及び配当金の受取額	1,610	2,571
利息の支払額	2,188	-
法人税等の支払額	29,445	114,319
法人税等の還付額	23,410	5,604
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,006,032	551,025
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	-	1,505,900
有価証券の売却による収入	-	2,000,000
有形固定資産の取得による支出	49,025	70,455
有形固定資産の売却による収入	22	82
無形固定資産の取得による支出	78,368	80,231
事業譲渡による収入	2,307	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	-	136,743
貸付金の回収による収入	32,370	-
敷金及び保証金の差入による支出	-	4,442
敷金及び保証金の回収による収入	-	1,435
その他	1,725	20
投資活動によるキャッシュ・フロー	94,420	477,253



(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年2月1日 至平成22年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年7月31日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	34,688	-
長期借入金の返済による支出	28,471	-
社債の償還による支出	10,000	-
配当金の支払額	54,291	247,196
株式の発行による収入	14,016	-
その他	3,839	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	117,273	247,196
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,586	816
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	792,752	780,266
現金及び現金同等物の期首残高	3,048,770	1,926,962
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	25,015	32,830
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	20	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,866,517	2,740,060

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日至平成23年7月31日)	
1. 連結の範囲に関する事項の変更	<p>(1) 連結の範囲の変更</p> <p>第1四半期連結会計期間において、連結子会社であったユミルリンク株式会社の全株式を譲渡いたしました。これにより、同社は連結子会社でなくなりました。</p> <p>また、第1四半期連結会計期間より、非連結子会社でありました Cybozu Vietnam Co., Ltd. につきまして、重要性が増したため連結の範囲に含めております。</p> <p>また、当第2四半期連結会計期間において、米国法人 Cybozu Corporation を新たに設立し、連結の範囲に含めております。</p> <p>(2) 変更後の連結子会社の数 6社</p>
2. 会計処理基準に関する事項の変更	<p>(1) 資産除去債務に関する会計基準の適用</p> <p>第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しております。</p> <p>これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は、それぞれ1,695千円減少し、税金等調整前四半期純利益は、20,430千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による敷金の変動額は18,734千円であります。</p>

【表示方法の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日至平成23年7月31日)	
(四半期連結損益計算書)	<p>「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等」の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。</p>

当第2四半期連結会計期間 (自平成23年5月1日至平成23年7月31日)	
(四半期連結損益計算書)	<p>「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等」の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。</p>

【簡便な会計処理】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日至平成23年7月31日)	
1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法	<p>貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度末において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して、一般債権の貸倒見積高を算定しております。</p>
2. 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	<p>繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法により算定しております。</p>
3. 固定資産の減価償却費の算定方法	<p>定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。</p>

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成23年7月31日)	前連結会計年度末 (平成23年1月31日)
1 たな卸資産の内訳は次のとおりであります。	1 たな卸資産の内訳は次のとおりであります。
商品 - 千円	商品 - 千円
製品 - 千円	製品 0千円
原材料及び貯蔵品 16,180千円	原材料及び貯蔵品 15,622千円
仕掛品 863千円	仕掛品 4,188千円
2 有形固定資産に対する減価償却累計額は次のとおりであります。	2 有形固定資産に対する減価償却累計額は次のとおりであります。
減価償却累計額 357,090千円	減価償却累計額 358,571千円

(四半期連結損益計算書関係)

第2四半期連結累計期間

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年2月1日 至平成22年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年7月31日)
事業譲渡損の主な内訳は次のとおりであります。 シンククライアント事業売却によるもの 107,342千円	

第2四半期連結会計期間

前第2四半期連結会計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年7月31日)
事業譲渡損の主な内訳は次のとおりであります。 シンククライアント事業売却によるもの 107,342千円	

( 四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係 )

前第 2 四半期連結累計期間 ( 自 平成22年 2 月 1 日 至 平成22年 7 月31日 )	当第 2 四半期連結累計期間 ( 自 平成23年 2 月 1 日 至 平成23年 7 月31日 )
<p>1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <p>現金及び預金 4,038,117千円</p> <p>預入期間が 3 か月を超える定期預金 171,600千円</p> <hr/> <p>現金及び現金同等物 3,866,517千円</p>	<p>1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <p>現金及び預金 2,740,060千円</p> <hr/> <p>現金及び現金同等物 2,740,060千円</p>
<p>2 連結子会社でなくなった会社の資産及び負債の主な内訳</p> <p>サイボウズ・メディアアンドテクノロジー株式会社</p> <p>流動資産 989千円</p> <p>固定資産 705千円</p> <p>流動負債 517,611千円</p> <p>固定負債 1,302千円</p> <p>少数株主持分 -</p> <hr/> <p>差引 517,218千円</p> <p>関係会社株式 311,614千円</p> <p>投資損失引当金 311,614千円</p> <p>繰延税金資産 187,830千円</p> <p>貸倒引当金 150,000千円</p> <p>連結除外による利益剰余金 555,049千円</p> <p>サイボウズ・メディアアンドテクノロジー株式会社の現金及び現金同等物 20千円</p> <hr/> <p>連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額 20千円</p>	<p>2 連結子会社でなくなった会社の資産及び負債の主な内訳</p> <p>ユミルリンク株式会社</p> <p>流動資産 277,214千円</p> <p>固定資産 61,720千円</p> <p>のれん 33,382千円</p> <p>流動負債 121,527千円</p> <p>固定負債 73,304千円</p> <p>少数株主持分 28,071千円</p> <hr/> <p>差引 149,414千円</p> <p>関係会社株式売却益 160,488千円</p> <p>関係会社株式の売却価格 309,903千円</p> <p>株式会社ユミルリンクの現金及び現金同等物 173,159千円</p> <hr/> <p>連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入 136,743千円</p>

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成23年7月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成23年2月1日至平成23年7月31日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期連結会計期間末
普通株式(株)	527,578

2 自己株式に関する事項

該当事項はありません。

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年4月26日 定時株主総会	普通株式	252,182	478	平成23年1月31日	平成23年4月27日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発  
生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成22年5月1日至平成22年7月31日)

	ソフト ウェア事業 (千円)	ソリューション 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,143,723	114,348	1,258,072	-	1,258,072
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	59	59	(59)	-
計	1,143,723	114,408	1,258,131	(59)	1,258,072
営業利益	235,821	25,547	210,273	100	210,373

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品・サービスの系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分の属する主要な製品・サービス

事業区分	主要製品・サービス
ソフトウェア事業	グループウェア、データベースソフト等
ソリューション事業	ネットワークソリューション、運用、監視、システムインテグレーション、ソリューションコンサルティング、シンクライアントビジネス

前連結会計年度において、通信事業を唯一構成する株式会社インフォニクスが連結の範囲から除外となったことから、当連結会計年度より当社グループから「通信事業」はなくなりました。

前第2四半期連結累計期間(自平成22年2月1日至平成22年7月31日)

	ソフト ウェア事業 (千円)	ソリューション 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,501,933	315,362	2,817,296	-	2,817,296
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3,642	10,196	13,838	(13,838)	-
計	2,505,575	325,559	2,831,134	(13,838)	2,817,296
営業利益	722,446	357	722,803	400	723,203

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品・サービスの系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分の属する主要な製品・サービス

事業区分	主要製品・サービス
ソフトウェア事業	グループウェア、データベースソフト等
ソリューション事業	ネットワークソリューション、運用、監視、システムインテグレーション、ソリューションコンサルティング、シンクライアントビジネス

前連結会計年度において、通信事業を唯一構成する株式会社インフォニクスが連結の範囲から除外となったことから、当連結会計年度より当社グループから「通信事業」はなくなりました。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間（自平成22年5月1日至平成22年7月31日）及び前第2四半期連結累計期間（自平成22年2月1日至平成22年7月31日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間（自平成22年5月1日至平成22年7月31日）及び前第2四半期連結累計期間（自平成22年2月1日至平成22年7月31日）

海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

当社グループは、グループウェアを中心とするソフトウェアの開発・販売を主な事業としています。開発・販売とも、製品ごとに戦略をたてて事業を行っているため、製品の種類ごとに売上とコストの分析を行っているものの、経営資源の配分や業績評価は当社グループ全体で行っています。従って、事業セグメントは単一であります。

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号平成21年3月21日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日）を適用しております。

( 1 株当たり情報 )

1 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成23年7月31日)		前連結会計年度末 (平成23年1月31日)	
1株当たり純資産額	9,585円70銭	1株当たり純資産額	9,529円36銭

2 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額

第2四半期連結累計期間

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年2月1日至平成22年7月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日至平成23年7月31日)	
1株当たり四半期純利益	538円85銭	1株当たり四半期純利益	495円90銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	538円81銭	なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年2月1日至平成22年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日至平成23年7月31日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(千円)	284,180	261,624
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	284,180	261,624
期中平均株式数(株)	527,384	527,578
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	34	-
(うち新株予約権)	(34)	(-)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含まれなかった潜在株式について前連結会計年度末から重要な変動がある場合の概要	-	-



第2四半期連結会計期間

前第2四半期連結会計期間 (自平成22年5月1日至平成22年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年5月1日至平成23年7月31日)
1株当たり四半期純損失 15円64銭 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません	1株当たり四半期純利益 71円97銭 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

(注) 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年5月1日至平成22年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年5月1日至平成23年7月31日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益又は四半期純損失( ) (千円)	8,252	37,970
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失( ) (千円)	8,252	37,970
期中平均株式数(株)	527,578	527,578

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年9月14日

サイボウズ株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 牧野 隆一 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 神谷 英一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサイボウズ株式会社の平成22年2月1日から平成23年1月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成22年5月1日から平成22年7月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成22年2月1日から平成22年7月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、サイボウズ株式会社及び連結子会社の平成22年7月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年9月13日

サイボウズ株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 牧野 隆一 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 佐藤 和充 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサイボウズ株式会社の平成23年2月1日から平成24年1月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年5月1日から平成23年7月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年2月1日から平成23年7月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、サイボウズ株式会社及び連結子会社の平成23年7月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。